

第 10 回南陽市教育委員会会議録

日時：令和7年10月24日（金）

午前10時20分～11時30分

場所：南陽市役所 庁議室

出席者

一 番	山 岸 俊 道	二 番	鎌 田 一 郎
三 番	池 田 めぐみ（欠席）	四 番	相 澤 裕 子

説明のため出席した職員

管理課長	鈴 木 博 明	学校教育課長	安 達 心
史跡文化主幹	角 田 朋 行	管理課長補佐	金 子 ちあき
学校教育課長補佐	志 賀 俊 介	学校教育課指導係長	佐 藤 由紀子
学校教育課指導主査	高 橋 栄 介	職務のため出席した職員	佐 藤 光 緒

議 事 日 程

開 会

- 日程第 1 会議録署名委員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 議第36号 南陽市部活動改革検討委員会設置要綱の一部を改正する
要綱の制定について
- 日程第 4 協 議 通学区域（学区）変更について
- 日程第 5 諸般の報告
- 日程第 6 業務報告
- （1）管理課 （2）学校教育課 （3）社会教育課

そ の 他

- （1）連絡事項

次回定例教育委員会 令和7年11月25日（火）午前10時

閉 会

開 会

日程第1 会議録署名委員の指名

教育長が鎌田一郎委員と相澤裕子委員を指名

日程第2 会期の決定

教育長が会期を本日1日限りとすることを決定

日程第3 議第36号

南陽市部活動改革検討委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

- ・学校教育課長が、要綱の改正案について説明
- ・部活動に代わる地域スポーツ文化活動として学校部活動の枠組みを変更し、部活動の地域展開を円滑に推し進めるために要綱を一部改正する。
- ・要綱第1条中の「南陽市部活動改革検討委員会」を「南陽市部活動地域展開検討委員会」に、第2条と第3条中の「部活動改革」を「部活動地域展開」に改める。
- ・土日の部活動を基本的に行わないという方針に基づき、地域展開へと移行する。

鎌田委員

- ・地域展開という表現にすることについて、学校の主体性や部活動改革の意味合いが薄れるという意図があるのか。

⇒学校教育課長：土日の部活動については認識のとおりである。

⇒教育長：国では、将来的には平日の部活動も行わないという考えがある。

（原案のとおり承認）

日程第4 協議 通学区域（学区）変更について

- ・学校教育課長が別紙資料により、区域外就学者等について説明

（原案のとおり承認）

日程第5 諸般の報告

教育長より報告

- ・教育再生首長会議について

10月1日にオンラインで行われたことを報告

各市区町村の首長が参加し、教育施策について意見交換を行う会議である。

今回の会議では、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Arts（芸術）、Mathematics（数学）の5つの分野の学習をとおして、IT社会で通用する人材を育てるSTEAM教育が取り上げられた。

教科横断的に学ぶ総合的な学習が、STEAM教育の一例として挙げられる。

知識の再構築だけではなく、想像力や問いを立てる力を育むことが重要である。

- ・定例小中学校長会議について

10月7日に行われたことを報告

管内市町教育委員会教育長会議で話題になった、管理職試験と来年度の人事の話を行った。

東京都の小学校で起きた児童による睡眠薬混入未遂事件を例に挙げて、危機管理について留意するよう促した。

生徒指導、鍵の管理と紛失時の対応、上司への報告義務等に触れた上で、校長先生方と危機管理についての再確認を行った。

- ・市中学校合同音楽会について

10月17日に開催されたことを報告

今年で53回目を迎える歴史と伝統のある行事であり、3つの中学校の合唱と吹奏楽部の合同演奏が行われた。

合唱は、発表する集団の様々な思いが表れるものであり、ハーモニーや声の大きさに差はあるものの、各学校の個性が表れていたと感じている。

合同音楽会は、義務教育最後の年である中学3年生が仲間と合唱を作り上げることのできる大変良い行事である。

日程第6 業務報告

管理課長、学校教育課長、史跡文化主幹より報告

各課の議案書資料に基づき、業務報告を行った。

さわやかワインマラソン大会の参加状況について

鎌田委員

- ・中学生の参加状況について確認したい。

⇒**学校教育課長**：30名にも満たない状況であり、少ないという指摘を受けているため、改善策を検討する必要がある。

⇒**教育長**：以前はあった部活動単位での参加も、近頃は見られない。

鎌田委員

- ・「自分達の力で南陽市を盛り上げよう」という発想が原点にあると思う。
- ・学校行事の縮小により以前のような部活動単位の参加が見られなくなったが、南陽市の一大イベントとしては寂しく感じる。
- ・一般参加者の状況についても確認したい。

⇒**史跡文化主幹**：今年度の参加者は1098人であり、昨年度の1063人と比較してもほぼ平年並みである。

相澤委員

- ・自らマラソンをしたいと思う子供達が少ないのではないかと思う。
- ・今は以前のような部活動単位での参加が見られないため、南陽市の一大イベントとしてどのように盛り上げていくかが課題であると感じている。

⇒**学校教育課長**：学校教育において難しい判断となる。

児童生徒の健康作りの一環という参加目的がもっとも理想的である。

市を盛り上げようという気持ちを持つことも促したいが、やり方に苦慮している。

鎌田委員

- ・中学生の参加状況を含めて、今回のマラソン大会をどのように振り返るか。

⇒**史跡文化主幹**：詳細を把握していないため、社会教育課長から後日回答させていただきたい。

⇒**教育長**：大会実行委員会の会議で、中学生や小学生の参加について議論したいと考えている。

危機管理について

相澤委員

- ・全ての危機管理に関する課題に対応することは難しいので、年間で重点的に取り組む課題を絞るべきだと思う。

- ・ AI を活用し課題を解決することもできるが、人の心がないがしろになってしまうのではないかと懸念している。
- ・ 合同音楽会においても、各学校の校長先生方がそれぞれの課題を認識することが重要だと思う。

⇒**学校教育課長**：起こり得る事故・事件に備えて危機管理対応マニュアルを確認することが重要である。

ときには、マニュアルの範囲を超えた対応が必要となることも踏まえて、危機管理を意識するよう指導を行いたいと考えている。

鎌田委員

- ・ 相澤委員も触れた危機管理の対応は重要な視点だと思う。

市長とみらいトークについて

相澤委員

- ・ 管理課長は市長とみらいトークに複数回出席する予定とのことだが、参加者の年齢層や参加者数の増減について確認したい。
- ・ 教育委員会で話した内容が反映されている等、何か気付きがあれば伺いたい。
- ・ ある参加者から、子育ての話題で期待していた回答が得られなかったという話を聞いた。

⇒**管理課長**：参加者は高齢者が多く、若い人はほとんどいない。

市内小学校の雨漏りについて話題となり、修繕するよう即日指示が来たことがあるため、実現できることについては各課の対応に反映されている印象を持っている。

市中学校合同音楽会について

鎌田委員

- ・ 合同音楽会において、市長には合唱を少しでも多く聴き、子供達の現状を直に感じていただきたい。

⇒**教育長・学校教育課長**：今回の合同音楽会では、市長の子供が参加予定だったため、市長は保護者席で合唱を最後まで聴いていた。

鎌田委員

- ・ 理解したが、できれば市長の席で聴いていただきたい。

就学時健診について

相澤委員

- ・就学時健診で「ママ」と言う子供が多いことを受けて、そういった子供はまだ成長過程で育っていないところがあるのではないかという見解がある。
- ・子供の独り立ちのために、連絡協議会を通じた学校への情報共有等が重要ではないかと思う。

東京都の小学校で起きた事件について

鎌田委員

- ・目撃したことを担任の先生に伝えた子供達の行動を評価する。
- ・事件についてのマイナス面だけではなく子供達の成長についてのプラス面も重視すべきだと思う。

その他（１）連絡事項

次回定例教育委員会について管理課長補佐より連絡

梨郷小学校訪問について

- ・学校教育課指導係長より、１１月２５日に予定されている梨郷小学校訪問について説明
- ・当日は給食の提供もあるため、給食の現状も見ていただきたい。

閉 会

教育長が令和７年１０月１６日付け南陽市教育委員会告示第１６号をもって招集した第１０回南陽市定例教育委員会の閉会を宣言